

令和 8 年 4 月
岡山県 美作市

障がい者雇用率 87.2%の美作市が、次なる目標「雇用率 9 割」へ「断らない相談窓口」と「専門職」が連携し、働く意思のある全ての障がい者へ「一貫した伴走支援」を展開

岡山県美作市（市長：萩原誠司）は、働く意思のある全ての障がい者の就労機会を確保するため、雇用前の準備段階から雇用後の職場定着に至るまで、途切れることのない「一貫した伴走支援」を展開いたします。

本市では、条例に規定する独自の「障がい者雇用率（※）」において現在 87.2%という高い水準にありますが、これを「9 割」に引き上げることを目標に掲げ、令和 7 年（2025 年）に実施した実態調査に基づく個別の就労支援を順次開始します。

※美作市における「障がい者雇用率」の定義について

市内在住の満 18 歳以上 65 歳未満の「働く意思のある障がい者」のうち、就労し、又は就労系サービス等を利用している障がい者の占める割合を指します。

■ 「断らない相談窓口」を起点とした多機関連携（重層的支援体制）

本市の就労支援の最大の強みは、「重層的支援体制整備事業」に基づく強固なサポート基盤です。市内各所に「総合相談支援センター」（本庁）と「社協地域ステーション」（旧町村単位）を設置し、「断らない相談窓口」として機能させています。

障がいのある方の就労の悩みは、生活困窮や家族のケアなど、複層的な課題と絡み合っていることが少なくありません。これらの窓口が「多機関連携の司令塔」としての役割を担い、就労面だけでなく生活面も含めた包括的な支援を行います。

■ 「なごみ」の専門職と「就労支援員」が両輪で支えるきめ細やかなサポート

多機関連携の一翼を担い、現場で直接ご本人に寄り添うのが、地域活動支援センター「なごみ」です。「なごみ」には、社会福祉士や精神保健福祉士等の専門職員が配置されており、日々の生活における不安や悩みなどの各種相談に対し、訪問、来所、電話など、ご本人が安心できる方法で柔軟に対応しています。

さらに本市では、就労マッチングや職場定着のノウハウを持つ「就労支援員」も活用できる体制を整えています。日常的なメンタルケアや生活相談と並行して、就労支援員が実践的なサポートを行うことで、無理のないステップアップを強力に後押しします。

■ 美作市が提供する「一貫した伴走支援」の3つのフェーズ

令和7年7月に実施したアンケート調査で把握したニーズをもとに、司令塔となる相談窓口や専門職が連携し、以下の3つのフェーズで「美作市モデル」の伴走支援を提供します。

雇用前の準備支援

ご本人の希望や適性を丁寧にヒアリングし、就労に向けた不安の解消、ビジネスマナーや履歴書の書き方など、一人ひとりのペースに合わせた準備をサポートします。

マッチング・就職活動支援

就労支援員らが市内の企業と連携し、ご本人の特性と企業のニーズが合致する就労先を開拓・マッチングします。面接への同行など、採用に至るまでのプロセスをきめ細やかに支援します。

雇用後の職場定着支援（アフターフォロー）

就職後も定期的な面談を実施し、職場での悩みや課題を早期に解決します。また、受け入れ企業側に対しても、障がい特性への理解促進や環境調整のアドバイスを行い、長く働き続けられる環境づくりをサポートします。

■ 今後の展望（雇用率9割に向けて）

新年度（令和8年度）は、この伴走支援体制をさらに強化し、支援対象者の拡大と市内企業への啓発活動を推進し、目標である「障がい者雇用率9割」の達成を目指します。美作市は、多機関が連携する重層的な支援体制のもと、障がいのある方もない方も共に働き、支え合う「共生社会」の実現に向け、モデルとなるような就労支援を展開してまいります。